



北白石

(2023年)4月6日(木)発行

令和5年度 担任・副担任一覧

学年	学級	学級担任	教科	副担任	教科	学級
2年	1組	加藤 拓	保体	大野 玄德 澤山 周央 成田 真由美 柴田 千裕 桑原 真弓 澁谷 愛	社会 理科 数学 国語 理科	4組 1・3組 2組 5・6組 時間講師
	2組	今泉 里彩	国語			
	3組	佐々木 智和	数学			
	4組	川口 佑太	英語			
	5組	船渡川 生子	社会			
	6組	庄司 美香	家庭科			
	8組	中村 祐司	特別支援	澁谷 愛	特別支援	
3年	1組	山谷 庄恵	英語	河野 忍 山本 哲也 元木 太郎 長岡 訓子 澁谷 愛	国語 数学 美術 保体	1組 3・4組 2・6組 5組
	2組	奥野 巧人	数学			
	3組	沼田 早苗	英語			
	4組	湯谷 真理子	保体			
	5組	向 理生	社会			
	6組	八代 裕平	理科			
	8組	堂端 ひかり	特別支援	澁谷 愛	特別支援	

校長：瀧澤 佳実 教頭：齋藤 節仁 主幹教諭：山田 秀剛 養護教諭：江積 憲子
 栄養教諭：林 杏莉 用務員：堀 嘉尚 事務職員：岡田 聖歩、唐島 瑞美
 校務助手：山下 久仁子 学校司書：平 恵美子 スクールカウンセラー：石田 容士
 ALT：ロビン・グリフィス
 相談支援パートナー・学びのサポーター：島村 顕子さん、鎌足 光正さん

着任挨拶

この度、下記9名の教職員が着任いたしました。

瀧澤 佳実 校長 国語・福移小中より

新しい出会い、新しい生活に期待と不安がいっぱいです。コロナ禍も少し落ち着きをみせてきましたが、生徒たちが安心して生活できる、笑顔あふれる学校になるよう、精いっぱい努力してまいります。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

紫藤 寛司 教諭 理科・北白石中より

今年度より白石区の北白石中学校から参りました、紫藤寛司と申します。教科は理科を担当します。9年ぶりの転勤となるので、緊張とワクワクが入り混じった感情です。早くこの栄中になれるよう精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

山田 秀剛 主幹教諭 保体・平岸中より

豊平区の平岸中学校から異動してきました。笑顔が多く活気がある学校に赴任できたことを嬉しく思います。生徒の皆さんと授業や行事等で関わることがとても楽しみです。どうぞよろしくお願い致します。

澤山 周央 教諭 理科・星槎国際高本部校より

厚別区の星槎国際高等学校本部校から参りました、理科担当の澤山 周央(さわやま しゅうおう)と申します。生物が好きで、大学ではショウジョウバエの研究をしていました。主に昆虫学や海洋生物学が好きで、夏にはスズメバチやクワガタの標本を作ったり、海に生きる生物の観察をしに行ったりしています。授業だけではなく、日々の生活からみなさんと楽しくかかわっていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。

柴田 千裕 教諭 国語・篠路西中より

北区の篠路西中学校から来ました柴田千裕です。2,3年生の国語を担当します。とてもきれいで新しい校舎で驚いています。どうぞよろしくお願い致します。

佐藤 汐里 教諭 音楽・藻岩中より

南区の藻岩中学校から参りました、佐藤汐里です。1年生と2年生の音楽の授業を担当します。栄中学校の皆さんと授業や行事などで、一緒にたくさんの活動ができることが今からとても楽しみです。これからどうぞよろしくお願いいたします。

江積 憲子 養護教諭 陵北中より

西区の陵北中学校から来ました。新しい学校で、みなさんと過ごせることを楽しみにしてきました。色々なことを保健室から応援したいと思います。よろしくお願いいたします。

岡田 聖歩 事務職員 手稲鉄北小より

手稲鉄北小学校から参りました事務職員の岡田聖歩です。中学校での勤務が初めてのため不慣れな点が多いですが、1日でも早く慣れ学校に貢献できればと思います。保護者の皆様、地域の皆様、よろしくお願いいたします。

山下 久仁子 校務助手 屯田中央中より

北区の屯田中央中学校から来ました校務助手の山下と申します。新しくきれいな校舎で仕事が出来る事を楽しみにしています。主に職員室で作業しています。よろしくお願いいたします。

始業式・校長講話

新しい1年のスタートに寄せて

校長 瀧澤 佳実

あんなに積もっていた雪もすっかりとけて、札幌にも春が訪れました。いよいよ新しい1年のスタートです。いつも歩き慣れた道も、今日は少し違った気持ちで歩いたかもしれせん。

新2年生、新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。3年生は最高学年として、これまでのさまざまな経験を通して蓄えてきた力を十分発揮してほしいと思います。また、自分の進路を決定する大切な一年でもあります。2年生は中堅学年として、栄中の歴史や伝統を受け継いで学校を支える立場になっていきます。

昨年度までは、コロナ禍に翻弄される毎日でしたが、少しずつ世の中も落ち着いてきました。皆さんは、これまで我慢しなければならぬことも多かったと思いますが、よく頑張りました。ご家庭のご協力にも感謝しています。今日からの生活が、今まで以上に笑顔があふれ、充実したものになるよう願っています。私も栄中学校での生活を楽しみにしています。

今日は、「学ぶ」ということについてお話しします。

皆さんは、昨年春に開校した「星友館中学校」を知っていますか？いろいろな事情があって義務教育をしっかり受けられなかった人が改めて学校で学ぶことのできる、北海道初の公立夜間中学校です。

そして、これは今年1月に発行された「にれ」68号です。栄中の生徒の作品も掲載されています。

今回初めて、星友館中学校の生徒も「にれ」に応募してくれました。掲載作品の中で、私が心に残ったものを紹介したいと思います。

筆者は「48歳のおばちゃん」。おうちを転勤で引っ越しが多く、新しい学校で勉強についていけず、だんだん勉強が嫌いになってしまったそうです。「間違っても、たとえ時間がかかっても、自ら考え気付き学んでいく、そんな地道なプロセスが好きだった。でも、それを上手にこなせなかったわたしを、おばちゃんはずっと責めていたし、ずっと許せなかった。」と書いています。深く深く心が傷ついてしまったおばちゃんですが、「すべてに失望、いや絶望してしまったわたしを受け入れてあげたいって。救ってあげたいって。」と、星友館中学校で学び直そうと決心しました。おばちゃんは中学生になって勉強を始めました。「おばちゃんは、今、勉強が楽しい。苦しいときも当然ある。だけど、楽しいんだ」—学ぶ喜びにあふれた言葉に心を打たれました。いろいろなことがあっても学ぶことをあきらめず、新たな目標を見つけ、努力しているおばちゃんは素晴らしいと思いました。おばちゃんは最後にこうまとめています。「諦めなければ、勇気をもって歩き続ければ、必ず乗り越えられる」と。

努力の結果はすぐに出ないこともあります。でも、努力することをやめたら、絶対結果が出ることはないのです。これからは一人一人の興味関心を大切にしながら課題を見つけ、いろいろな人たちと関わって学びを深めていくことが必要だと言われています。一つ学年が上がったこのタイミングに、「学ぶ」ということを考えて、自分なりの目標をみつけてほしいと思います。

明日には230名の新入生が、期待と不安をもちながらも、希望に胸ふくらませて入学してきます。残念ながら入学式に参加することはできませんが、栄中の先輩として、ともに学ぶ仲間として、温かく迎えてほしいと思います。